

研究に関する情報公開文書

下記研究は、名古屋市総合リハビリテーション事業団附属病院倫理審査委員会の承諾を得て、研究責任者の下で行われています。すでに実施している研究の中で取得された検査結果のみを使用するため、対象となる患者さんに新たなご負担はおかけいたしません。また、研究結果は学会や学術雑誌などに発表されることがありますが、患者さんのプライバシーは十分に尊重され、個人情報（お名前など）が外部に公表されることはありません。ご自身の検査情報が、この研究に使用されることに同意されない方は、下記の連絡先までご連絡いただければ、研究対象から除外させていただきます。研究へのご協力についてはいつでも拒否または撤回をすることができます。なお、同意されない場合でも、診療上不利益を被ることはありません。また、本研究に関して詳しい説明を希望される場合も、下記の連絡先にお問い合わせいただきますようお願い致します。

研究課題

亜急性期脳卒中後上肢麻痺の学習性不使用の予防に対するアプローチ

研究責任者

名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院 第1リハビリテーション部 作業療法科
作業療法士 庵本直矢

研究組織

第1リハビリテーション部 作業療法科 作業療法士
柏木 晴子 池場 奈菜 小林 直樹 渡邊 史織 服部 峻士

研究期間

開始：2021年 11月 24日 終了：2023年 3月 31日

対象者

対象は、当院に入院した患者さんの中で以下の適応基準に該当する方々です。

- ・2019年6月～2021年6月の間で当院に入院した初発の脳卒中患者
- ・上肢麻痺を呈した方（Fugl-Meyer Assessment > 10点、手指自動屈曲が可能）
- ・CI療法を提供開始した時点で発症から3ヶ月未満の方
- ・CI療法を1日40-80分、週5日、6週間以上受けた方
- ・認知機能が保たれている方（Mini-Mental State Examination \geq 24点）

利用する情報

- ・基本情報（年齢・性別・利き手・疾患名・発症日・既往歴）
- ・上肢機能評価結果（Fugl-Meyer Assessment、Motor Activity Log-14）
- ・認知機能評価結果（Mini-Mental State Examination）

情報の管理

当事業団の個人情報の保護に関する規定に従って管理を行います。

「事業団個人情報の保護に関する規定」

研究目的

本研究の目的は、亜急性期における CI 療法をベースにした作業療法が麻痺手の回復に関連する学習性不使用を防ぐことができるかを調査することです。

研究方法

1. データの取得方法

対象となる方のデータ（データ内容は上記の利用する情報をご参照ください）を電子カルテから取得します。

2. 解析方法

- ・ Fugl-Meyer Assessment、Motor Activity Log-14 について、入院時と退院時の差を比較します。
- ・ 入院時の Fugl-Meyer Assessment と Motor Activity Log-14 の相関、退院時の Fugl-Meyer Assessment と Motor Activity Log-14 の相関をそれぞれ計算します。

※今回の探索的研究の結果次第で、将来的に実施する可能性のあるランダム化比較試験に必要なサンプルサイズを設計するための効果量の算出も行います。

本研究に関する連絡先

名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院 第1リハビリテーション部 作業療法科

庵本 直矢

愛知県名古屋市瑞穂区弥富町密柑山 1-2

TEL : 052-835-3811 (内線 761 作業療法科)